

# 令和6年度 産山学園校内研修概要

## 1 研究主題

主体的に学習に取り組み、考えを深める子どもの育成

## 2 共通実践事項

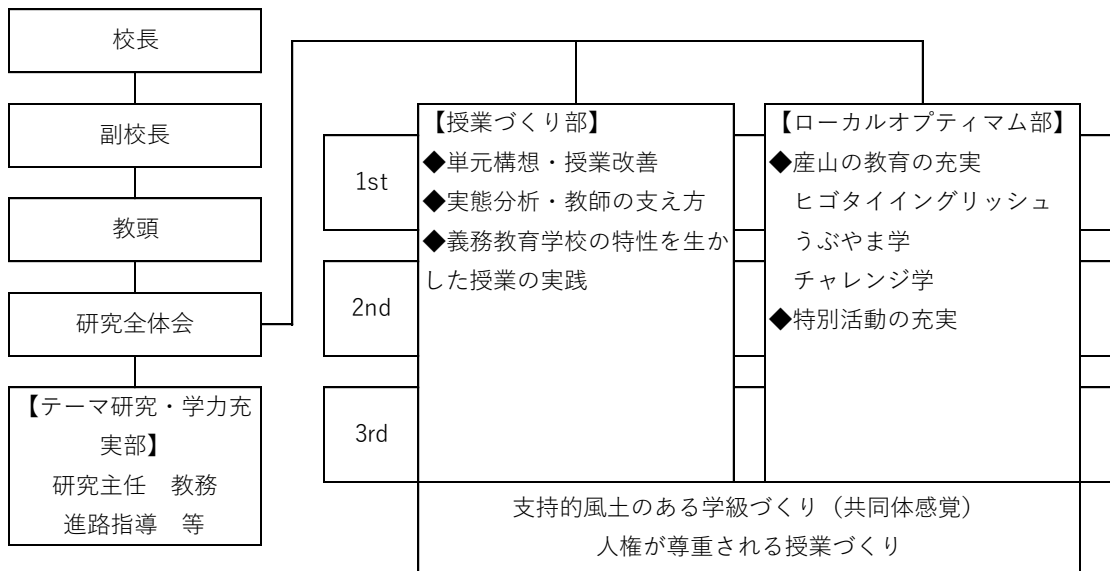
R6年度 「熊本の学び」を自校化した産山型学習 共通実践事項

産山型学習		
過程	児童生徒の視点から	授業者の視点から
う～ん 今日の 課題 は？	<p>◎めあてや学習課題をつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>めあてや学習課題を確かめて、やる気を出し、学習の見通しを立てる。</li> </ul> <p>「なぜ」「おそらく」(疑問や予想)</p>	<p>◎めあての設定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本時のゴールの姿の明確化</li> </ul> <p>◎学習課題の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>切実感のある学習課題を立て、興味関心を高める。</li> </ul>
ぶっ かって みよう ひとり で!	<p>◎ひとり学びで課題解決に取り組み、自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習課題を自分ごととして捉え、根拠を明確にした自分の考えをもつ。</li> </ul> <p>「やってみよう」(挑戦)</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>根拠を明確にする。</p> <p>論理的思考を促す。</p> </div> <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center; margin-top: 5px;"> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-right: 5px;">ひとり学び (個人思考)</div> <div style="font-size: 2em; margin: 0 5px;">↕</div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-left: 5px;">学び合い (小集団・ 集団思考)</div> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: right;"> <p>・書く活動の充実</p> <p>・読解力の育成</p> </div>
やろう みんな で!	<p>◎学び合って、学習課題を解決する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>お互いの考えを伝え合い、自己の考えを広げ、深め、学習課題を解決する。</li> </ul> <p>「なるほど」「きっと」(納得感)</p>	
まとめ ふりか えろう!	<p>◎まとめ、ふりかえり、次時へつなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>わかったことを確認し、何を学んだのかを明確にする。</li> <li>何ができたようになったのかを自分自身で振り返り、次時の学習につなげる。</li> </ul> <p>「わかった」「できた」「もっとやってみよう」 (実感や達成感, 更なる意欲)</p>	<div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>◎学びを実感できる主体的なまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子供の言葉でまとめる手立て</li> <li>めあてや学習課題との整合を図る。</li> </ul> <p>◎学びを実感できる主体的な振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりの視点(あかうしどん)をもたせる。</li> <li>次の学習への意欲をもたせる評価の工夫</li> </ul> </div> <div style="margin-top: 10px; text-align: right; border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>深い学びの 発信活動へ</p> </div>

## 3 研究の柱

柱1	柱2
<p>学園生が「学びの主体」となるための授業改善</p>	<p>学びとくらし、地域をつなぐ教育活動の充実</p>
<p>① 学園生が主体となる単元構想・授業改善</p> <p>② 実態分析に基づく、教師の支え方の工夫</p> <p>③ 義務教育学校の特性を生かした授業の実践</p>	<p>① 産山の教育(ローカルオプティマム)の充実 ヒゴタイングリッシュと国際交流/うぶやま学/チャレンジ学</p> <p>② 特別活動における自己存在感の涵養</p>

## 4 研究組織



校訓

We have a dream 私たちには、夢がある

学校教育目標

心豊かに、たくましく、互いに高め合う学園生の育成

研究テーマ

主体的に学習に取り組み、考えを深める子どもの育成

柱1

学園生が「学びの主体」  
となるための授業改善

- ① 学園生が主体となる単  
元構想・授業設計
- ② 実態分析に基づく、教  
師の支え方の工夫
- ③ 義務教育学校の特性を  
生かした授業の実践

Thinking

9年間を  
見通した

Challenge

つなぐ  
つながる  
カリキュラム

Teamwork

柱2

学びと暮らし、地域をつな  
ぐ教育活動の充実

- ① 産山の教育（ローカル  
オプティマム）の充実  
ヒゴタイイングリッシ  
ュ／うぶやま学／チャ  
レンジ学など
- ② 特別活動における自己  
存在感の涵養

人権教育の視点・ICT教育の推進

信頼される学校づくり

コミュニティ・スクール

地域と連携した居場所づくり

学園生の実態・願い

地域学校協働本部

(学校応援隊)

保護者・産山村の願い

